

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年1月29日 (2015.1.29)

【公表番号】特表2014-518609(P2014-518609A)

【公表日】平成26年8月7日 (2014.8.7)

【年通号数】公開・登録公報2014-042

【出願番号】特願2013-556902(P2013-556902)

【国際特許分類】

A 2 3 L	1/30	(2006.01)
A 6 1 K	31/201	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/08	(2006.01)
A 6 1 P	9/12	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/231	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/60	(2006.01)
A 6 1 K	35/12	(2015.01)
A 6 1 K	36/18	(2006.01)
A 6 1 K	36/02	(2006.01)
A 6 1 K	35/74	(2015.01)
A 6 1 K	36/06	(2006.01)
A 6 1 K	36/00	(2006.01)

【F I】

A 2 3 L	1/30	Z
A 6 1 K	31/201	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	9/08	
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	31/231	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/04	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	9/06	
A 6 1 P	9/10	1 0 3
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	35/60	
A 6 1 K	35/12	
A 6 1 K	35/78	C

A 6 1 K	35/80	Z
A 6 1 K	35/74	Z
A 6 1 K	35/72	
A 6 1 K	35/78	X

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月8日(2014.12.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

C16:1n7-パルミトレアート誘導体とパルミタート誘導体とを含む栄養補助食品であって、該栄養補助食品は

(i) C16:1n7-パルミトレアート誘導体対パルミタート誘導体の比率が20:1から100:1であり；かつ

(ii) 少なくとも20重量%のC16:1n7-パルミトレアート誘導体を含み；かつ
パルミトレアート誘導体およびパルミタート誘導体の各々が独立して、遊離酸、薬学的に許容される塩、(C₁-C₄)アルキルエステル、モノグリセリド、ジグリセリド、トリグリセリド、またはそれらの任意の2つ以上の組み合わせである、
栄養補助食品。

【請求項2】

少なくとも35重量%のC16:1n7-パルミトレアート誘導体を含む、請求項1記載の栄養補助食品。

【請求項3】

少なくとも50重量%のC16:1n7-パルミトレアート誘導体を含む、請求項1記載の栄養補助食品。

【請求項4】

少なくとも90重量%のC16:1n7-パルミトレアート誘導体を含む、請求項1記載の栄養補助食品。

【請求項5】

C16:1n7-パルミトレアート誘導体対パルミタート誘導体の比率が20:1から50:1である、請求項1記載の栄養補助食品。

【請求項6】

C16:1n7-パルミトレアート誘導体対パルミタート誘導体の比率が50:1から100:1である、請求項1記載の栄養補助食品。

【請求項7】

すべての誘導体が(C₁-C₄)アルキルエステルである、請求項1記載の栄養補助食品。

【請求項8】

すべての誘導体がエチルエステルである、請求項1記載の栄養補助食品。

【請求項9】

すべての誘導体がメチルエステルである、請求項1記載の栄養補助食品。

【請求項10】

すべての誘導体が遊離酸またはその薬学的に許容される塩である、請求項1記載の栄養補助食品。

【請求項11】

すべての誘導体がモノグリセリド、ジグリセリド、トリグリセリド、またはそれらの任

意の 2 つ以上の組み合わせである、請求項 1 記載の栄養補助食品。

【請求項 12】

該 C16：1n7-パルミトレアート誘導体がシス-C16：1n7-パルミトレアート誘導体である、請求項 1 記載の栄養補助食品。

【請求項 13】

栄養補助食品がオレアート誘導体をさらに含み、該栄養補助食品の C16：1n7-パルミトレアート誘導体対オレアート誘導体の比率が6：1 から 100：1であり、かつ各オレアート誘導体が独立して、遊離酸、薬学的に許容される塩、(C₁-C₄)アルキルエステル、モノグリセリド、ジグリセリド、トリグリセリド、またはそれらの任意の 2 つ以上の組み合わせである、請求項 1 記載の栄養補助食品。

【請求項 14】

C16：1n7-パルミトレアート誘導体対オレアート誘導体の比率が10：1 から 20：1である、請求項 13 記載の栄養補助食品。

【請求項 15】

C16：1n7-パルミトレアート誘導体対オレアート誘導体の比率が20：1 から 50：1である、請求項 13 記載の栄養補助食品。

【請求項 16】

C16：1n7-パルミトレアート誘導体対オレアート誘導体の比率が50：1 から 100：1である、請求項 13 記載の栄養補助食品。

【請求項 17】

C16：1n7-パルミトレアート誘導体が、魚から得られる C16：1n7-パルミトレアート部分を含む、請求項 1 記載の栄養補助食品。

【請求項 18】

魚が、アンチョビ、メンヘーデン、スケトウダラ、ニシン、タラ、サケ、キュウリウオ、マグロ、サバ、オキアミ、またはそれら任意の 2 つ以上の組み合わせである、請求項 17 記載の栄養補助食品。

【請求項 19】

魚がアンチョビを含む、請求項 17 記載の栄養補助食品。

【請求項 20】

魚がメンヘーデンを含む、請求項 17 記載の栄養補助食品。